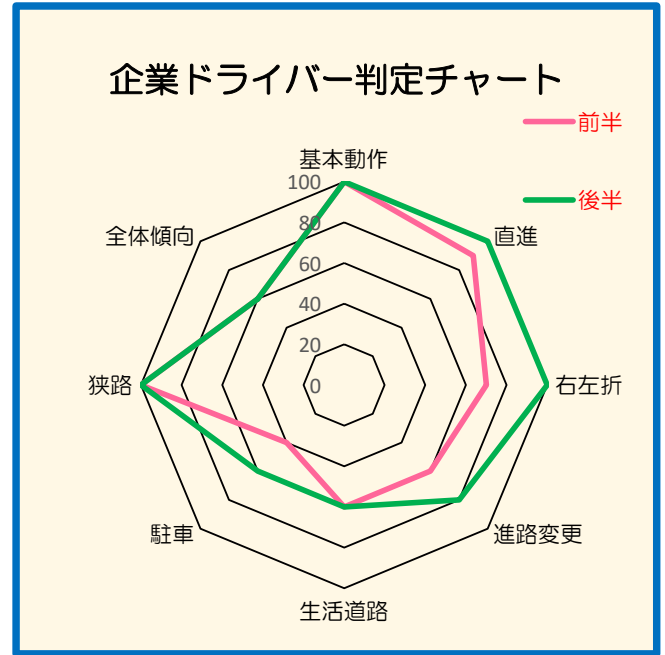




運転技能診断表

実施日	●●●●/●●/●●
企業名	株式会社 ●●●●
運転者氏名	●● ●● 様
研修機関	近鉄自動車学校
研修担当者	近鉄 太郎



初期判定	最終判定
点数	点数
70	80
レベル	レベル
C	C

場所	場面	細目	前半	後半
基本動作	乗車	1 日常点検		
		2 乗車確認		
	運転姿勢	3 シート位置		
		4 ミラー調節		
		5 シートベルト着用		
		6 ハンドル操作		
		7 ペダル操作		
	降車	8 降車確認		
		9 駐車措置		
幹線道路	直進時の走行	10 交通の流れに乗った走行		
		11 走行位置	×	
		12 車間距離		
		13 速度調節		
	右左折方法	14 信号		
		15 走行位置		
		16 合図の時期		
		17 十分な減速	×	
		18 対向車への目配りと状況判断	×	
		19 横断者保護等		
		20 信号		
車線変更	21 安全確認	×		
	22 合図			

場所	場面	細目	前半	後半
幹線道路	車線変更	23 速度調節	×	×
		24 周囲との同調		
		25 ハンドル操作		
生活道路等		26 速度調節		
		27 走行位置の取り方		
		28 車間距離		
		29 見通しの悪い場所への対応	×	×
		30 一時停止場所への対応		
		31 歩行者保護等		
		32 側方通過時の速度や間隔	×	×
		33 ゆずり合い		
		所内課題	駐車	34 安全確認
35 速度調節				
36 ハンドル操作	×			×
狭路	37 切り返し(安全間隔)		×	×
	38 速度調節			
	39 ハンドル操作			
	40 切り返し(安全間隔)			
全体傾向		41 法令遵守		
		42 ゆとり運転		
		43 情報の取り方	×	×
		44 危険予測	×	×

総合コメント

基本的な運転操作については改善が見られましたが、走行中や駐車時における危険予測に不安が残ります。具体的には、駐車車両の側方を通過する際に速度を落とすことなく進行を続ける場面や駐車時には、周囲の障害物に接触直前まで後退を続ける場面が見受けられました。研修では死角に潜む危険予測やそのための情報の取り方を生活道路や所内の駐車場を用い繰り返し練習をすることで改善が見られましたが、定着には至っていません。研修で学んだ内容を活かしてください。

◇ 単独運転 判定レベルの解説と課題 ◇



A判定

単独運転が可能です。
周囲の安全確認や運転操作等にゆとりがあり、
運転態度も良好です。
急ぎ、焦りは事故を引き起こす要因となります。
常に冷静で集中力を切らさないでください。

企業ドライバー判定		補講
A	問題なし	
B	ほぼ問題なし	
C	やや問題あり	4
D	問題あり	6
E	非常に問題あり	10

※補講時間は目安となります



B判定

運転操作、運転態度について概ね良好です。
単独運転は可能ですが、時折、見え隠れする油断に注意が必要です。
交通事故は一瞬の不注意で発生します。
常に、企業ドライバーとしての自覚と責任の大切さを忘れず運転してください。



C判定

単独運転には、もう少し練習と経験の積み重ねが必要です。
視線の配り方や危険予測に問題があります。
更に、運転練習を継続し技術の向上と予測能力の重要性について理解してください。
僅かなミスが取り返しのつかない重大な事故となります。
ハンドルを握る重要性について考えてください。

D判定

操作することはできていますが、運転中における視野が狭く、交通状況及び道路環境まで目が行き届いていません。
自分の車の近くにはばかり注意が向き、先の情報を捉えきれず、ニアミスが多くあります。単独運転は危険です。
道路には車だけでなく、歩行者や自転車、バイクなど様々な情報を捉えなければなりません。



E判定

単独運転は非常に危険を感じます。
安全運転に必要な運転技術及び交通法規等、基本的な事が備わっていません。
繰り返し練習を重ね技術と知識及び危険予測能力を身につけてください。
まだまだ練習が必要です。

